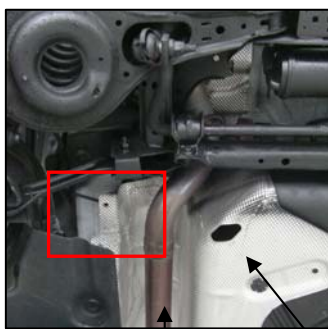


## 改善箇所説明図

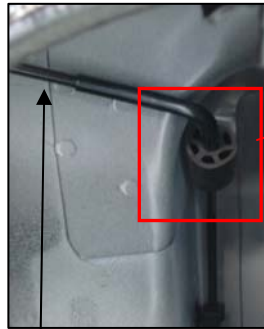


不具合発生箇所



排気管

遮熱板



ブレーキパイプ



追加部品:保護カバー

### 不具合状況

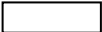
車両下部のリアブレーキパイプにおいて、ブレーキパイプと排気管の遮熱板のクリアランスが不十分なため、走行中の振動により、ブレーキパイプと遮熱板が接触して摩耗することがある。摩耗が進行するとブレーキパイプに穴が開き、ブレーキフルードが漏れることで警告灯と警告メッセージが表示される。そのままの状態で使用を続けると、制動力が低下するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、リアブレーキパイプが遮熱板と接触する可能性のある部分に保護カバーを取り付ける。その際、リアブレーキパイプを点検し、損傷がある場合には新品に交換して保護カバーを取り付ける。

### 識別

右側ドアヒンジ部へ黄色ペイントを塗布する。

注:  は不具合箇所を示す。